

特集

# ごみ減量へ、まったなし!

## いま、そしてこれからの「ごみ減量」

家庭ごみ有料化実施から3年が経過しました。諏訪湖周クリーンセンター建設の準備も進んでいます。新施設の稼働にあたって、必須条件とされるごみ減量ですが、そもそも、なぜ、ごみを減らさなくてはいけないのでしょうか。平成27年度のごみ減量目標達成をめざすいま、あらためて考えてみたいと思います。

第一部 座談講演「3Rで実現する協働の環境まちづくり」  
 司会 山崎 裕子氏  
 講師 山崎 裕子氏



### 第2次岡谷市環境基本計画の推進

### 9月の基本目標 《循環型社会の構築》 ものを大切にすまち

地球の資源には限りがあります。資源を枯渇させないため、市民、事業者、市がそれぞれの役割を分担し、資源の有効活用、廃棄物のリデュース、リユース、リサイクルに取り組み、持続可能な資源循環型社会を構築しましょう。

おかや環境かるた



エコバッグ いつも  
 わすれず もってこよう

### ★3R(スリーアール)って何?

リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) の英語の「R」を並べた「3R」と呼んでいます。

リデュースは廃棄物の発生を抑制すること、リユースは廃棄物を再使用するこ、リサイクルは廃棄物を原材料として再生し利用することです。

### ★わたしたちができる3Rは?

- リデュース(発生抑制)  
 買ものは、マイバックを持参し、容器詰め替え品を選ぶ、過剰包装を断るなど環境に配慮しましょう。
- リユース(再使用)  
 「もったいないの精神」を大切に、修理して使う、フリーマーケットを活用する、知人に譲るなど、再使用の道を探りましょう。
- リサイクル(再資源化)  
 不要となったものは資源になるものを分別し、再生して利用しましょう。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



エコマークや再生材料使用表示の商品を選択しましょう



# 協働で進めるごみ減量

8月3日、カノラホール小ホールで開催された、  
環境セミナー「これからのごみ減量」について考える のレポートをベースに、  
いま、わたしたちにできることは何か、ともに考えてみましょう。

## ごみは何でできている?

ごみは、ごみとして生まれてきたわけではありません。もとは、食べもの、使うもの、入れものなどの商品や製品です。それらはすべて、石油、木材、鉄、水、酸素など、貴重な地球の資源やエネルギーを使ってつくられています。しかし、不要になれば捨てることになり、商品や製品だったものが「ごみ」になります。

## ごみと資源は表裏一体!

つまり、ごみ減量は、地球の資源やエネルギーをむだにしないということ。処理施設の負担を減らすだけでなく、環境負荷を減らし、資源の枯渇や地球温暖化を防ぐという、とても深い意味を持っています。製造や移動の過程で、たくさんのエネルギーを消費し二酸化炭素を発生させた「もの」を「ごみ」として処理する際には、さらにエネルギーを使い、空気中の二酸化炭素を増やします。

## 基調講演 「3Rで実現する協働の環境まちづくり」



講師：崎田 裕子さん

ジャーナリスト・環境省登録の環境カウンセラー  
NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長

家庭ごみ有料化や生ごみ分別回収など、岡谷市のごみ減量に向けた取り組みは積極的です。けれど、有料化実施3年を経て、ごみ排出量が横ばいになっています。まだやれることがありますし、もっと減らさなくてはいけないと思いますが、その実現には本気が必要です。行政は、連携を主導し先進事業者を応援する、事業者は、いっそうの発生抑制をする…わたしたちは、この取り組みにどうかかわっていったらよいでしょうか。

## ごみの減量はダイエットと同じ!

ごみ出しの都度、ごみ袋の重さをはかって、カレンダーに書き込む。たとえばこんなふうに、意識するだけで、ずいぶん減らすことができます。

## 3Rのなかでも、 とくにリデュース・リユースを意識して推進!

リサイクルへの取り組みは、だいぶ進んできましたが、より大切なのは、いま使っているものをできるだけ長持ちさせたり、あるいは修理したりして使い、できるだけごみにしない、ごみを生み出さないという工夫です。資源を大切に使いきる、活かす…まずは、山のような容器包装材を削減することと、食品ロスを減らすことから、もういちどくらしを見直していきましょう。

## パネルディスカッション「これからのごみ減量」



岡谷市衛生自治会連合会 会長  
山崎 舜次さん

2市1町で建設する諏訪湖周グリーンセンター稼働に向けて、27年度ごみ減量目標である「ごみ量10,967トン」を必ず達成しなくてはならないと考えます。市民一丸となって、真剣にごみ減量に取り組んでいく必要がありますね。



岡谷市食生活改善推進協議会 会長  
高林 昌代さん

環境にやさしいクッキングや食育の推進として「地産地消に心掛けましょう」、「食材を丸ごと皮ごと使いましょう」、「食べ残しを減らしましょう」、「買物は計画的に」、「片付けも環境にやさしく」を率先して行っています。わたしたちの活動によって、これらが広がればと思っています。



岡谷市消費者の会 顧問  
笠原 順子さん

岡谷市消費者の会は、①必要なだけ買う、②包装のないもの、少ないものを選ぶ、③容器は、リターナブルのものを選ぶ、④使い捨てるの容器や商品は避ける、⑤再生品を選ぶ、⑥修理をしながら大事に使う、⑦リサイクルできるものを選び、リサイクルに参加、⑧地場産、旬のものを選ぶ、⑨環境負荷の少ないものを選ぶ、⑩環境への取り組みをしている店や企業を選ぶ…というグリーンコンシューマー「緑の消費者」10原則をモットーに活動しています。これを広めていきたいです。



ユニー(株)アピタ岡谷店 店長 山口 明さん

環境省より認定された、業界初の「エコファースト企業」として、食品循環資源の再生利用、持続可能な社会構築と社会貢献に積極的に取り組んでいます。6月下旬から、スーパー部門のレジでは、レジ袋の無料配布を中止し、有料レジ袋(1枚5円)は、環境負荷の少ない(CO<sub>2</sub>を17%削減)製品にしました。その代金の一部は、岡谷市へ寄付していきます。

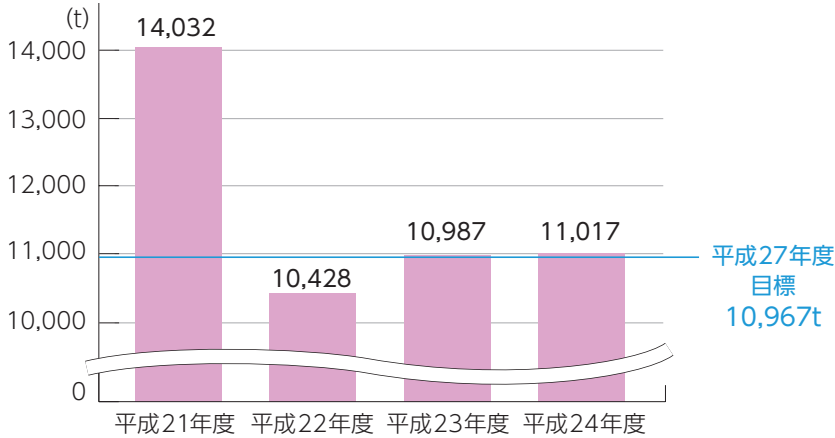
コーディネーター 崎田 裕子さん

地域のみなさんが、個人や団体や企業でそれぞれの活動を継続し、さらには、話し合いや協力によって連携を深め、ごみ減量を実現していかれることを期待します。

市のごみの処理やリサイクルには、税金が使われます。きびしい財政状況のなか、予算は、福祉や教育ほか、さまざまな分野に配分しなくてはなりません。自分のできることを自分ですることは、わたしたちみんなの財産を守ることに必要です。資源を大切に、できるだけごみを出さないように、みんなでごみ減量、環境対策に取り組んでいきましょう。

「岡谷市の「ごみ」詳しく見とみるよ…」

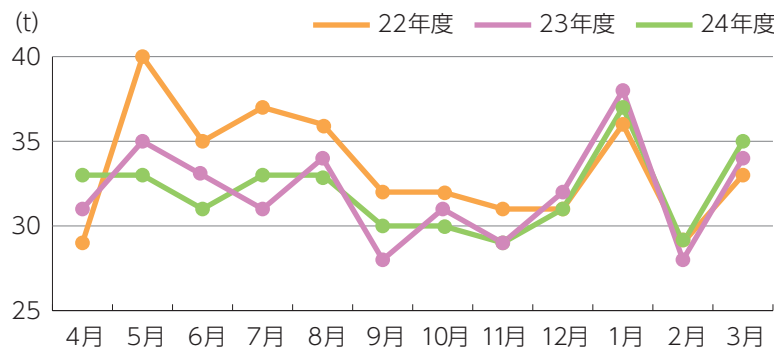
平成21～24年度の燃えるごみ量 目標との比較



22年度は、家庭ごみの有料化とプラスチック製容器包装の分別回収などにより、燃えるごみの量は大幅に減少しましたが、その後の2年間は横ばい微増の状況が続いています。

新施設整備に伴う、ごみ減量目標10,967トン達成するには、いっそう積極的な取り組みが必要です。

平成22～24年度のプラスチック製容器包装の回収量 月別比較

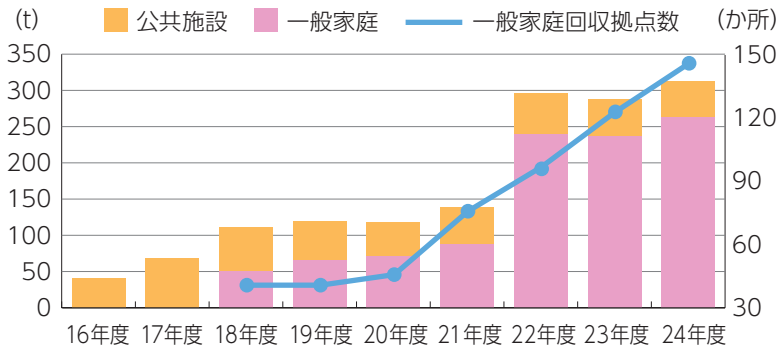


22年度から始まったプラスチック製容器包装の分別回収ですが、年間の回収量は約400トンで推移し、横ばいが続いています。燃えるごみの中身をもう一度見直し、引き続き分別回収にご協力をお願いします。

毎日のひと手間で大きなごみ減量を!



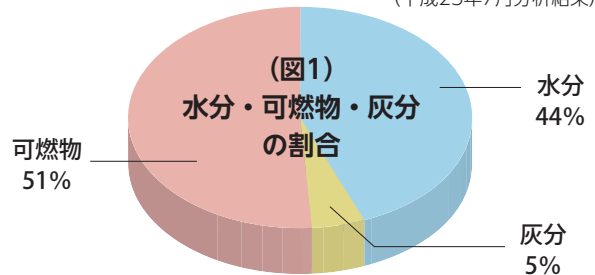
生ごみ回収量と回収拠点数の推移



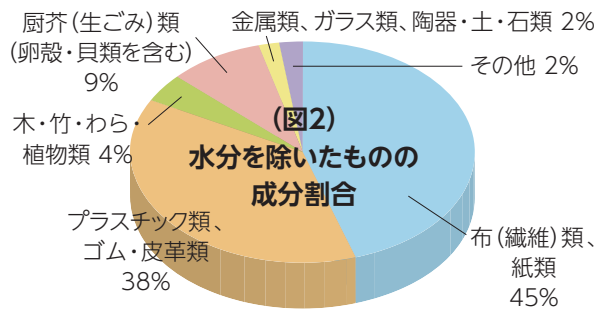
毎年回収拠点を増やしていますが、この3年間の回収量は、約300トンで横ばいとなっています。家庭から出される燃えるごみの約30～40%が生ごみ、なんとその約半分が水分なので、生ごみを減らし、水分を減らすことは、即ごみ減量につながります。

ごみの中身を水切りですっきり!

(平成25年7月分析結果)



一般ごみの約44%が水分です。生ごみの「水切り・ひとしぼり」を徹底するだけで、大きくごみを減量することができます。ひと手間、ひと工夫のご協力をお願いします。



水分を除いたものを再分類すると、多いのが紙類で、リサイクルできるものがだいぶ含まれています。生ごみは約9%、自家処理での堆肥化も含め、いっそうの分別&資源化を進めると、大幅なごみ減量を図ることができます。

少しスリムになっただけ?





### 食べ残しをなくそう!

県の「食べ残しを減らそう県民運動」に連動して、市も、食べ残しをなくそう!をPRしていきます。「食べ物を大切に」「作ってくれた人に感謝する」という意識を持ち、食べ残しゼロをめざしましょう。

◎家庭では、「余分を買わない」「必要以上に作らない」「残さず食べる」を心がけましょう。

◎宴会では、「注文しすぎない」「残さず食べる」「あるを尽くす」を心がけましょう。

いちばん大切なことは、食べ残しをなくし、ごみの発生を抑制することです。飲食店や食品小売店など事業者のみなさんもお協力ください。

ながのけん  
リサイクルキャラクター  
「クルルん」



### 「電動式生ごみ処理機」を じょうずに使おう!

家庭の電動式生ごみ処理機は、ぜひ活用しましょう。生ごみの水を簡単に切ることができるので、虫の発生や悪臭を防いで衛生的。処理時間の短縮や節電にもつながります。



## みんなで 目標を達成しよう!



### 生ごみの「水切り・ひとしぼり」を 実行しよう!

「生ごみ」の水分を減らすことは、ごみ減量とCO<sub>2</sub>削減に役立ちます。

〈乾かす〉〈水にぬらさない〉〈調理でひと工夫〉  
〈スッキリ水切り〉〈手でしぼる〉



### 「生ごみの拠点回収」に 参加しよう!

市内の生ごみの回収拠点は、現在147か所。黄色い回収袋が目印です。専用の青色(10リットル)袋に入れた生ごみを、地区の指定の曜日に出してください。

※生ごみ回収に出せない場合は、できるだけ水分を切って、燃えるごみの袋に入れてください。



### 「ダンボールコンポスト講習会」 に参加しよう!

生ごみが堆肥に大変身!身近な材料“ダンボール箱”を使って、お金をかけず、臭わないコンポストづくり。生ごみの自家処理をマスターしましょう。



※生ごみを加え続けて約3か月で、堆肥の完成です。

日時…9月7日(土) 午後2時～3時15分

会場…三沢区コミュニティ施設

定員…30名

受講料…無料(ただし基材代は実費525円)

持ち物…みかん箱ほどのダンボール箱1つ、新聞紙(大)1日分、  
カッター、布ガムテープ

応募…随時電話にて受け付け

共催…岡谷市衛生自治会連合会・岡谷市消費者の会

※詳細は、お問い合わせください。

※「出前講座」のメニューでも取り上げています。グループ単位での開催を希望する人は、お気軽にご連絡ください。

## 9月23日(月・祝)のごみ収集はありません

祝日のため、燃えるごみ・資源物の収集は行いませんのでご注意ください。清掃工場への持ち込みもお休みとなります。みなさんのご協力をお願いします。

申込み・問合せ●環境課 ☎22-7040



2013  
岡谷

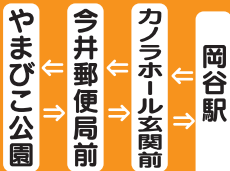
未来へつなぐ!  
ひろげようecoの“環”



# エコフェスティバル

無料送迎

アイトリングストップバス



車椅子での乗車も OK



- スタンプラリー  
(会場を回って、お楽しみくじを引こう! 省エネグッズなどが当たるよ)
- ぼんぼんつり、工作
- 時計修理名人 (電池代は実費)
- 刃物研ぎ (有料)  
※今年はおもちゃ修理はありません
- フリーマーケット
- エコカー展示

樋沢のもろこし販売  
売り切れごめん!

環境団体、企業等による  
環境保全活動の発表

2013  
9月22日 日

10:00~15:00 開会式 9:45~ 岡谷市鳥居平やまびこ公園中央広場

開催場所：岡谷市清掃工場・岡谷市鳥居平やまびこ公園

岡谷エコフェスティバル2013は、未来へつなぐ!ひろげようecoの“環”をメインテーマに、「ごみ減量3R」「自然共生」について考えるとともに、清掃工場が11月で解体となることから、「ありがとう清掃工場」の意味を込めながら、諏訪湖周クリーンセンター (愛称:ecoポップ) の紹介もします。環境について家族で考える良い機会です。ぜひお出かけください。

【体験】

- ・廃油石けんづくり
- ・手動発電機、うちわの風力発電体験
- ・おもしろ化学実験

【交換】

- ・開いた牛乳パック40枚 ⇒ トイレトペーパー 1個
  - ・アルミ缶10個またはスチール缶20個 ⇒ くじ引き1回
- そのほか「復興支援バザー」「リサイクルクイズ」など

■お問い合わせは…岡谷市環境課 TEL22-7040